

市第45号議案 公立大学法人横浜市立大学の中期目標の変更

1 変更の目的

横浜市立大学では、本市で定めた中期目標（平成29～34年度）にある「急速に進む時代の変化や学生の多様なニーズに柔軟に対応するため、社会ニーズに応えることができる教育組織について検討を進める」との目標に沿って、法人自らが定めた中期計画の中で、「データサイエンス学部」の新設に取り組むこととしています。

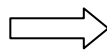
平成30年度の学部新設に向け、先日、文部科学省に提出した学部設置の届出が受理されたことに伴い、中期目標に記載している教育研究組織の一部を変更するものです。

2 中期目標変更内容

第2 教育研究組織（抜粋）

<変更前>

学 部	国際総合科学部
	医学部



<変更後>

学 部	国際総合科学部
	データサイエンス学部
	医学部

3 今後のスケジュール

29年10月～11月 特別選抜入試（指定校推薦入試、A0入試、その他(海外帰国生・国際バカロレア・科学オリンピック・外国人留学生・社会人)）

30年2月～3月 一般選抜入試（前期・後期）

4月 学部開設

<参考>学部の概要

※別添 リーフレット参照

ただの数字で
終わらせるか。
世界を変える力を
引き出すか。

THINK & FIND

データサイエンスが世界を変える。

2018年4月

データサイエンス学部誕生

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

ビッグデータ、IoT、人工知能…。 データの持つ力で 未来を創る、 データサイエンス。

ネット上のつぶやきやデータから人々の好みを読み取り、
次の流行をいち早くつかむ。ムードといったあいまいなものさえ、
次々と集まる膨大なデータをもとに解析し、解き明かしていく。

それがデータサイエンスだ。

ビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、
新たな価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストは、
AI(人工知能)などの次世代テクノロジーも駆使しながら、
社会を劇的に変えていくことに挑む。

その活躍の場はデータが生まれるすべての現場。

IoT(Internet of Things)の活用によりすべてのモノがつながり、
「第4次産業革命」を迎えつつある今、
それは無限の可能性とともに国境も超え、
まだ存在しない未知の職業へとダイナミックに広がっていく。



Case 1

医療ビッグデータを解析し、
病気リスクの発見や、
難病治療に役立てる

電子カルテの記録や画像診断データ等、
蓄積する膨大な医療ビッグデータが次世代医療を解くカギに。



Case 2

その時、人々はどこに行き、
何をしたか。災害時の行動を
次の防災につなげる

災害発生時の帰宅困難者数をスマホの位置情報から想定するなど、
災害対策でのビッグデータ活用は今や必須。



Case 3

あなたの
何気ないつぶやきで、
景気動向がわかる

SNSのつぶやきもビッグデータのひとつ。これを解析して
株式市場の動向を予測する試みが、既に始まっている。

2018年4月、 首都圏初のデータサイエンス学部誕生

首都圏で初となるデータサイエンス学部が、2018年春、横浜市立大学に誕生します。

データサイエンス学部では、データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション力や、イノベーションを起こす発想力、次世代に通用するビジネス力を養成。日々データが生まれ蓄積される今、そこから新たな社会的価値を創造できる人材を育成します。

カリキュラムの特色

1 文理融合

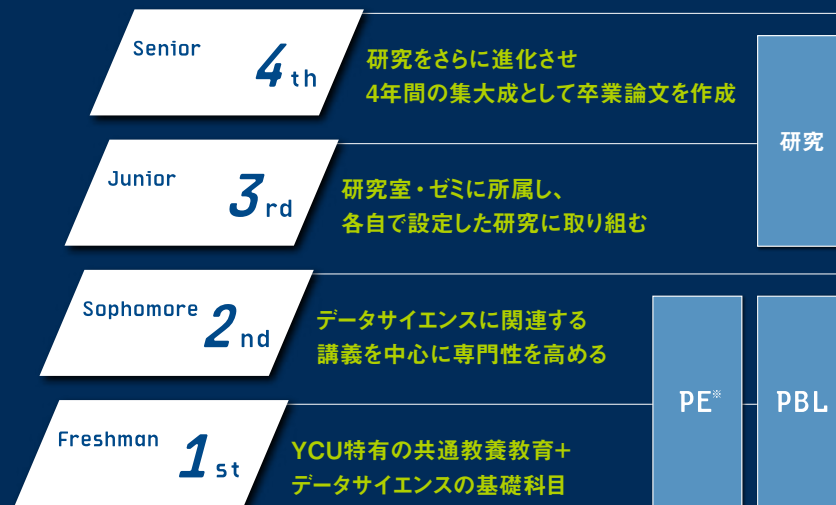
データサイエンスの専門教育と文系・理系にとらわれない広範な教育で、「未来の芽」を見つけ出す底力を培う。

2 現場重視

データが生まれる現場でPBL (Project-Based Learning、課題解決型学習) を行い、実践的な学びの機会を数多く持つ。

3 国際水準の英語力

世界がフィールドとなるデータサイエンス領域で活躍するための英語力を身につける。



想定される卒業後の進路

データサイエンス学部が育てるのは、文理融合の「知」を持った人材です。卒業後は、時代をリードする幅広い分野での活躍が期待されます。もしかしたら、それはまだ存在していない職業かもしれません。

- 金融（銀行、証券会社、生命保険・損害保険会社など）
（データコンサルタント、データアナリスト）
- IT企業（インターネット関連会社、ネットショッピング運営会社など）
（製品開発、データマイニングエンジニア）
- 製造業（電機メーカーなど）
（製品開発、データマイニングエンジニア）
- 広告代理店、総合商社
（アカウントマネジャー、マーケティング担当）
- 製薬メーカー、大学病院
（臨床研究専門家）
- 公務員
（オープンデータに基づくアナリスト）
- 今はまだ存在していない職業

※PE (Practical English) は、大学での授業や研究を英語で行うことのできるコミュニケーションレベルを目指した必修科目です。少人数制の授業はすべて英語で進められ、「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」力を習得します。（最低達成水準は、TOEFL-ITP 500点相当）

文系の力も、理系の力も。 データサイエンスに必要なのは、 これまでにない発想力。

データサイエンス学部は、文系・理系を問わず受験ができる学部です。
データサイエンスに必要なのは、
膨大なデータの中に埋もれた新しい価値を見つけ出し、
世の中を変えることができる能力。そこに求められるのは、
文系・理系の枠組みを越えた、知力と分析力、発想力なのです。

たとえばこんな方にオススメ!

- TYPE 1 AI (人工知能) を駆使する、
新ジャンルのエンジニアになりたい!
- TYPE 2 ビッグデータを駆使して
社会の課題を発掘し、解決したい!
- TYPE 3 コミュニケーションを大切にしながら、
人や社会に貢献したい!
- TYPE 4 データのチカラをベースに、
発想力で勝負する経営者になりたい!

データサイエンス学部概要

学 科 名	データサイエンス学科
学 位	学士 (データサイエンス)
入 学 定 員	60名
収 容 定 員	240名
キャンパス	金沢八景キャンパス

CAMPUS

金沢八景キャンパス



・データサイエンス学部

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分 シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩7分

福浦キャンパス



〒236-0004
横浜市金沢区
福浦3-9
シーサイドライン
「市大医学部駅」より
徒歩1分

舞岡キャンパス

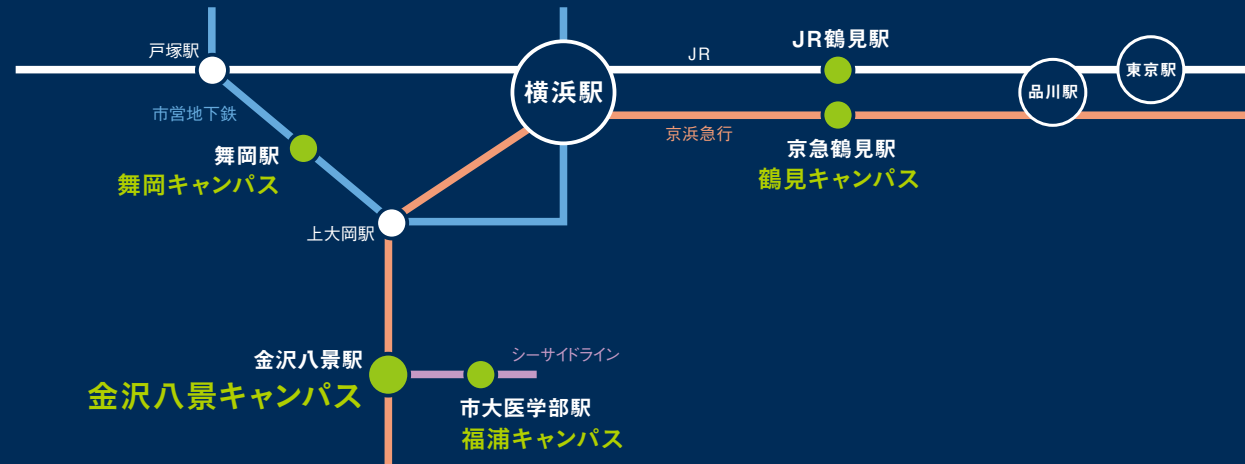


〒244-0813
横浜市戸塚区
舞岡町641-12
市営地下鉄
「舞岡駅」より
徒歩10分

鶴見キャンパス



〒230-0045
横浜市鶴見区
末広町1-7-29
JR京浜東北線
「鶴見駅」東口および
京浜急行線「京急鶴見駅」
よりバス約15分

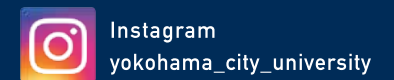


【お問い合わせ】横浜市立大学 アドミッションズセンター
〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL 045-787-2055



※デバイスによっては読み取れない場合があります

www.yokohama-cu.ac.jp/academics/ds/



横浜市立大学 国際総合科学部再編の検討状況について

1 国際総合科学部の再編【平成31年度実施予定】

第3期中期目標に基づき、法人の第3期中期計画において、「国際総合科学部の再編」を位置付けています。

＜第3期中期目標＞

急速に進む時代の変化や学生の多様なニーズに柔軟に対応するため、社会ニーズに応えることができる教育組織について検討を進める。

＜第3期中期計画＞

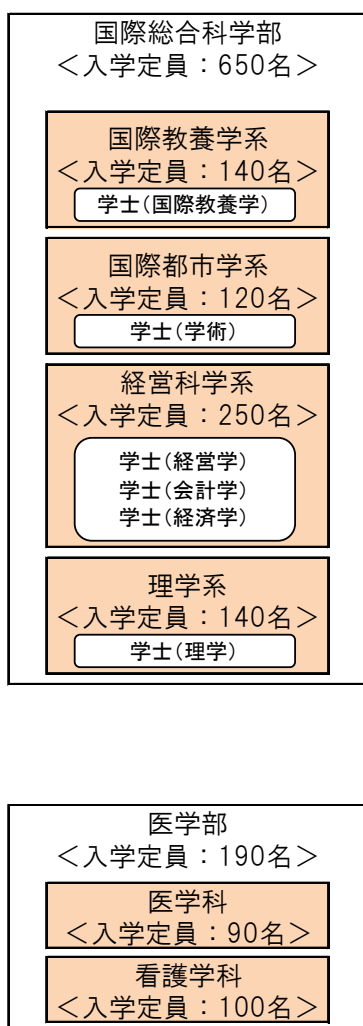
国際総合科学部を国際教養学系・国際都市学系、経営科学系、理学系を母体とした3学部に再編する。

＜再編コンセプト＞

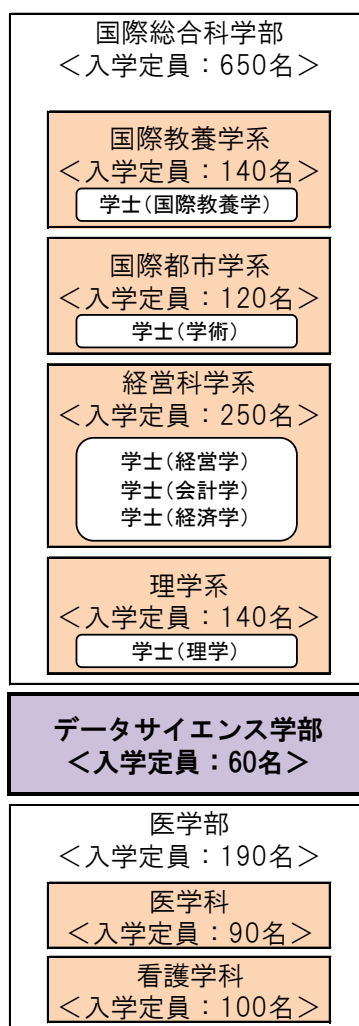
- 大学の競争力強化のため、各学部の特長を明確に打ち出します。
- 国際総合科学部の成果である「領域横断」・「グローバル化」を生かす教育体系とします。
- 学部名から教育内容を想像できる「わかりやすい名称」とします。

2 学部の構成（案）

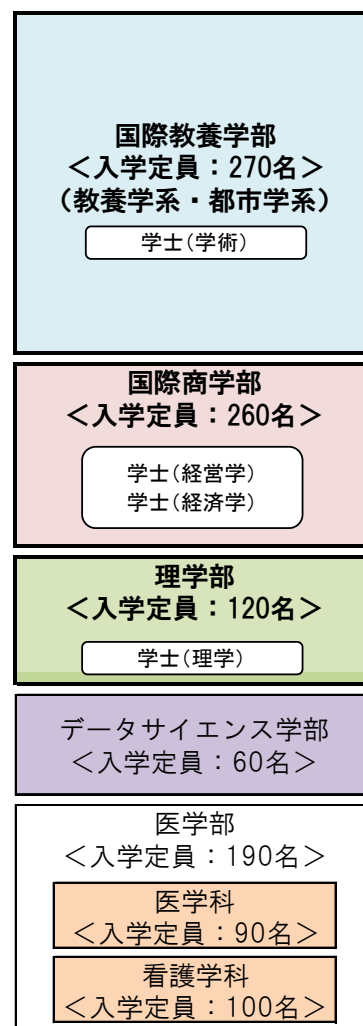
＜平成29年度＞



＜平成30年度＞



＜平成31年度＞



3 再編後の新学部及びその特長

<3学部共通>

- 既存の教員資源で教育の質を落とさずに、より特長ある教育（研究）を実施します。
- 再編後の3学部合計の定員は、再編前と同じ1学年650名とします。

(1) 理論の国際教養と実践の国際都市を融合させた**国際教養学部**【入学定員270名】

- 「豊かな教養」と「高い思考力」及び「高い外国語の運用能力」と「課題解決に向けた実践力」を養う。
- 多文化共生社会の実現、世界規模の課題、都市における諸問題の解決に寄与する人材を育成する。

(2) 伝統である実学に国際性を付加して進化させた**国際商学部**【入学定員260名】

- 「国際都市横浜」という地域資源を活用し、「課題発見力」と「企画立案力」、「実業界で役立つ確かな英語力」を培う。
- 多国籍企業に通じる経営管理力、新事業を創造する企画立案力を持ち、高度な実学能力を活かすことで、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成する。

(3) 医学と連携し、物理と化学の知識をもとに、理学の法則に基づいて生命現象の本質を捉え、アプローチする**理学部**【入学定員120名】

- 「生命と生命現象を、原子・分子・タンパク質・DNA・細胞・個体の階層構造と機能から捉え、その仕組みを理学の知識から解き明かす」ことを理念とする。
- 生命とそれを取りまく環境を体系的に理解することができる人材を育成するとともに、新たな学問分野や融合研究（医学部との連携など）にも積極的に挑戦できる人材を育成する。

4 今後の主な予定

- 平成30年4月 学部再編の届出を文部科学省へ提出（⇒6月末ごろ 届出受理の決定）
9月 市会定例会において、中期目標の変更議案を提出
10月 再編後の学部で学生選抜（入試）開始
平成31年4月 学部開設